

38 名に卒業証書授与



6月26日、カポレイの新キャンパスでは初めてとなる卒業式 (Commencement) が挙行され、38名の卒業生と卒業予定者が出席しました。本学は4学期制をとっているため、年に4回卒業のタイミングがありますが、卒業式は年に2回のため一部の学生は「先取り」の卒業式となります。

アメリカ式に Cap & Gown (角帽とガウン) を着用して一人一人に卒業証書 (Diploma) を授与。帽子から垂れ下がる房 (タッセル) は卒業証書を受け取るまでは右側に垂らしておく習わしです。そ

して、授与後に学生代表の掛け声のもと、房を左側に移し、晴れて「卒業」の証となります。卒業式はまだ終わりではありません。記念写真のあとは、これもアメリカの大学でお決まりの「帽子投げ」。歓声と共に、自分の帽子を高らかに投げ上げ、無事に式が終了しました。

保護者のみなさま、地元の方々、かつての卒業生や友達たちも出席し、式のあとはあちこちで歓談の輪ができ、学生たちはその場を離れたい様子でした。

次の卒業式は12月19日 (土) です。

新学長就任

7月1日より吉村卓也教授に

エドワード・シュルツ暫定学長の後を受けて、本学の学長 (Chancellor) に吉村卓也教授が就任しました。

1959年埼玉県生まれ。1997年より北海道東海大学 (現・東海大学札幌キャンパス) 勤務。2015年3月まで国際文化学部長。米国・ミズーリ大学卒 (修士・ジャーナリズム)



From Our Chancellor

はじめして!

寒いところに住みたいくて北海道に行ったのですが、ハワイに住むことになるとは人生分からないものです。

私自身、会社勤めを経験し、29歳で初めてアメリカに留学し、その体験がそれからの人生を変えたと言っても過言ではないでしょう。留学がなければ日本を出て仕事をする事もなかったかもしれません。

価値観は一つだけでないことを、この多文化のハワイで実感してください。学生達の HTIC での体験が大きな飛躍のきっかけになるように祈っています。

編入にむけて

HTIC の卒業生は多くが4年制の大学に進学します。HTIC を修了すれば「短大卒」となりますので、4年制大学には多くの場合3年次に「編入」することになります。

「編入」は英語では "transfer" といい、本学では入学時から常にこの transfer を頭に入れて進路を考えるよう指導しています。アメリカのコミュニティカレッジ等の短大からも4年制大学に編入する学生はいますが、全国平均で見るとその卒業率は3割前後で、さらに編入した多くの学生が編入先でも卒業まで至っていないのが実態です。これは、アメリカの短大の場合、とりあえず入学しやすい短大に進学してみたり、仕事をやりながらパートタイムで学校に来たりというケースも多く、学生のモチベーションも様々なことも要因としてあげられるかもしれません。

HTIC の場合は編入した学生のほとんどが4年制大学を卒業しています。

編入のパターン

HTIC 入学から卒業までの時間が意外と短いのは前号でお伝えした通りです。

英語の予科 (CP) から入って順調に行けば卒業までは2年半しかありません。卒業の少なくとも半年以上前には編入のための大学調べ、願書の提出等があるので、実質入学の1年数ヶ月後には次の大学のことを決める時期になります。

編入先として、まずアメリカの大学か、あるいは日本、他国の大学に進学するのかが決めます。

以下、いくつかのパターンに沿って説明します。

次ページへ ▶

編入にむけて TRANSFER!

東海大学への編入

(注)

東海大学への編入学は学園内の短大からの「特別推薦」(※志望理由書の他、面接試験が必須です)を日本に試験を受けに帰る必要があります)を使い、9月または4月に入学することが可能です。編入の時期は HTIC の卒業時期に合わせて春秋どちらのタイミングで編入するかを決めることになります。

3年次に編入して、卒業まで2年間というのが一般的なパターン(医学部等を除く)ですので、9月に編入した場合、卒業は2年後の9月になります。ただし、日本の場合は就職活動が同時期に一齐に行われる慣習があるのと、さらに「既卒者」向けの求人が限られていることもあり、9月卒業予定の学生は半年卒業を延ばして3月の卒業を選択するケースも多くなっています。

その他の日本の大学



日本のほとんどの大学の編入のタイミングは4月です。時期は大学によってまちまちですが、だいたい前年の夏から秋にかけて編入試験が行われます。ほとんどが日本で試験を受ける必要があります。2016年の4月に編入学を予定している場合、まさにこの夏～秋が試験期間です。出願や試験は一般に理系の学部の方が文系に比べ早い場合が多くなっています。

日本の編入の「穴場」は国公立大学です。多くの大学で3年次の編入試験を実施しており、特に文系学部の場合、試験は「英語 (TOEFL, TOEIC のスコアで代替するところもあり)」「小論文」「面接」というところが多く、数学や理科は必要ありません。HTIC の学生は英語ではかなり有利に立てるとお思いますので、この

試験はかなり「お得」感があります。

日本の4年制大学の卒業必要単位は多くが124単位以上、アメリカでは120単位以上が普通です。HTIC は短大ですので、最低卒業必要単位数はアメリカ4年制大学の半数の60単位です。日本の短大の卒業要件は62単位が普通です。日本の大学への編入の場合は、①編入までに必ず短大を卒業すること(受験時は「見込み」で可)、②最低62単位を取っていることが条件となることが多いので、少し多めに単位を取っておいてください。(※東海大学への編入は学園内制度のため60単位でも編入できます。)

アメリカの大学



アメリカの大学の編入のタイミングは大学によってまちまちです。秋学期(8月末～12月)と春学期(1月～5月)のセメスター制(2学期制)を取っているところが多いのでそれらの学期が始まる8月末か1月初旬がひとつのタイミングとなります。6月～8月はどうしているのかというと、多くの場合 Summer Session という「夏学期」が開かれています。これは普通は4ヶ月かかる1学期をぎゅっと圧縮して授業を行うものですが、この時期に編入できる大学もあります。

アメリカの大学への編入で重要となるのが GPA というこれまでの成績の平均値と、出願時の志望理由書(エッセー)です。GPA は4点が満点ですが、大学によってはこれが悪いと受け付けてくれません。

「試験」にあたるものはほとんどの大学でありません。GPA で測られる「普段の行い」がいかに大切かが分かります。これまでの成績がよかったなら入学しても成功するだろう、逆なら入学してもダメだろうという、誠に合理的な考え方で、日本のように昔は遊んでいたけど入試で一発逆転という発想が無いのがアメリカ

です。エッセーもかなり重要です。これまで自分が何をやってきたのか、それをしっかりとアピールする必要があります。勉強以外の活動、ボランティア活動やクラブ活動等は大きなアピールポイントとなります。

アメリカの大学の学費は公立大学といえどもかなり高いのが現状ですが、昨今さらに値上がりが続いているにも関わらず、世界各国から「アメリカの大学の学位」を求めて多くの学生がやってきます。それだけ世界で通用する学位ということなのでしょう。

学費と諸経費の合計で、一般的に州立大学で年間150万円～400万円、私立大学で300万円～600万円くらいかかります。州立大学ですと In-State という州内在住者に対する大幅割引がありますが、留学生には適用されないのが注意が必要です。費用は円安の影響もあり日本円に換算するとかなり高額になってしまっているのが現状です。

ちなみにハワイ大学(マノア校、州立)ですと留学生の場合、年間約3万ドルが授業料+諸費用の相場です。これは全米の州立大学の中でもかなり高い部類と言ってよいでしょう。

アルバイトして学費を稼ぐというチョイスも日本なら考えられるのですが、留学生の場合はビザの関係で必ずフルタイムの学生にならなくてはなりません。勉強はかなり忙しくなります。その条件を満たした上で、キャンパス内でのアルバイトに限り週20時間なら可能という制度がありますが、アルバイトの機会は日本に比べて圧倒的に少ないと言えます。

アメリカでもこの学費は普通の人やすやすと払える金額ではありません。アメリカ人の州内在住者の場合は in-state レートがありますが、希望の大学に行くために、多くの学生が卒業後も学生ローンを抱えているのも現状です。このような学費の値上がりが続けば教育の機会も奪われるとして、アメリカ国内でも大きな問題となっています。

(注) 2015年秋から書類審査のみとなりました。日本に帰る必要はありません。

HTICの卒業生が行く可能性の高い米国の大学の学費をまとめてみました。金額は1年にかかる学費と諸経費を足したものです。入学が許可されると、留学生の場合は、学費を払えることを証明するため、学費相当の金額があることを証明する銀行の残高書類 (bank statement) の提出が求められるのが普通です。

▼ HTIC と編入協定のある大学です。協定により、編入後の単位の認定が簡略化され、科目によっては単位認定が確約されます。

University of Hawaii-Manoa	\$29,412	ハワイ州を代表する州立総合大学。学生数多い
University of Hawaii-Hilo	\$19,036	ハワイ大学のハワイ島キャンパス
University of Hawaii-West Oahu	\$17,816	ハワイ大学の一つ。HTICの隣にある
Chaminade University of Honolulu	\$21,084	ホノルルにある小規模な私立大学
Hawaii Pacific University	\$21,130	ホノルルにある私立大学。留学生も多い
University at Albany--SUNY	\$20,167	NY 州立大学の一つ。学費が安め
Berkeley College (NY)	\$23,700	NY, マンハッタンにある小規模大。入学しやすい
Daemen College (NY)	\$24,990	NY 州バッファロー近くの小規模私立大学
Minnesota State University--Mankato	\$7,531	留学生に大幅な学費の割引がある大学
Northern Arizona University	\$22,510	アリゾナの州立大。自然の中の広大なキャンパス
San Francisco State University	\$17,628	カリフォルニア州立大学システムの一つ
University of Idaho	\$20,314	奨学金が取れば学費半減の可能性もあり
University of Oregon	\$30,888	オレゴンの州立大学。Nike との関係が深い

▼ HTIC と協定はありませんが、これまでに進学実績のある主な大学です。編入後の単位認定は受け入れ大学の規定により決まります。単位認定まで時間がかかる場合があります。

Stony Brook University--SUNY	\$21,850	NY 州立大学の一つ。HTIC 卒業生も多い
Arizona State University --Tempe	\$23,312	アリゾナの大規模州立大。学生多し
California State University --Fullerton	\$17,476	カリフォルニア州立。学費安め
University of Nevada --Las Vegas	\$20,600	州立大。ホテルマネジメント専攻が有名
Syracuse University	\$41,886	NY 州の私立大。行政学で有名。学費は高い
University of Texas --Austin	\$34,722	全米ベスト 50 にランクされる州立大
University of Colorado --Boulder	\$33,151	全米ベスト 100 ランク。言語学に定評あり
Massachusetts College of Art and Design	\$29,925	ボストン市内にある小規模な芸術大学
St. Cloud State University (MN)	\$15,156	ミネソタ州立大学システムの一つ
George Washington University	\$48,760	首都ワシントンにある名門私立大学
University of Oklahoma	\$20,469	スポーツが盛んで NCAA で大活躍
University of Wisconsin--Milwaukee	\$19,610	ミシガン湖まで 5 分、ミルウォーキーも近い
West Virginia University	\$20,424	ウェストバージニア州の旗艦大学
Tulane University (LA)	\$48,305	ニューオーリンズの名門私立大。全米ベスト 50
St. John's University (NY)	\$38,680	NY 市内のカトリック系総合私立大学
CUNY--Queens College	\$15,777	NY 市立大の一つ。学費が安め

US News & World Report のデータより

※ 1 年間にかかる学費と諸経費の合計。夏学期 (サマーセッション)、住宅費 (寮費等)、食費は含まれていません。費用は予告なく変更される場合があるので必ず確認してください。

円安とハワイの物価

留学生を送り出している親にしてみると、円安の傾向は全く恨めしいものです。筆者自身も留学生の親だった時代には、0.1 円でも円高のときに送金をしようと、

毎日為替レートを祈るような気持ちで眺めていたのを思い出します。

HTIC の学費は数年前に比べてそれほど上がっていないにも関わらず、円安のせいで年間数十万円の違いとなってしまいますので、大学としても心中穏やかで

はありません。この大きな投資に見合う結果を学生さんには持ち帰って頂くよう、学校として努めてまいります。

円安に加え、生活のコストもハワイは高いところです。最近の統計によれば、全米の中で、生活費が一番高い都市はニューヨーク、2 位がサンフランシスコ、3 位がホノルルです。家賃ではハワイはワースト 5 には入っていませんが、食品の高さではサンフランシスコに次いで 2 位、電気代にいたってはハワイはニューヨークの約 2 倍、断トツの 1 位です。

食費が高いのがハワイの特徴

ハワイは太平洋のほぼ真ん中にある絶海の孤島です。一番近い北米大陸まで、約 4,000 キロ、多くの食料が米本土から来ますので輸送コストがかかり、さらに高い電気代を使った冷蔵コストが重なります。タマゴ 1 ダースが約 500 円、ファーストフードのランチセットも 1000 円、普通のレストランで座ってランチを食べればチップを入れて 2000 円以上という感覚です。地元の人も高い食費をなんとかするため、各地で地産地消のファーマーズマーケットが大はやり。安い農産品を求めてどこにもぎわっています。

ちなみに、最新の統計によれば世界で一番生活コストが高い都市は、1 位シンガポール、次いでパリ、オスロ (ノルウェー)、チューリッヒ (スイス)、シドニー (オーストラリア)、メルボルン (同)、となっていて、アメリカの都市は 10 位以内に登場しません。ヨーロッパの物価高も相当なものようです。こう考えると、ワンコインでそこそこのランチが食べられる日本は安すぎるのでしょうか？



ある日スーパーで見つけたタマゴは 1 ダース \$5.79 ! 買うのをためらいます・・・

スタッフ紹介



**Professor
Mark
ANTHONY**
准教授
CP (予科)
コーディネーター

コロラド大学ボルダー校大学院を修了後、ESL (英語習得) 教育に携わる。2006年からHTICで教鞭をとる。それ以前は十数年間、山形大学教養部および人文学部の専任教員として日本の大学生への教育に携わる英語教育のプロフェッショナル。山形では純日本風の家屋に住み、日本文化を堪能。日本酒、果物特にサクランボ、ナシをこよなく愛する。趣味は家族との時間。新キャンパスに移って、学生の教育環境が高まったことがうれしい。予科の責任者としてより質の高い教育を目指したい。



**Asa
ASASAKI**
事務部フロント
デスクマネージャー

HTIC 事務スタッフの最古参の一人。学生寮の管理、マネジメントにかかわる。卒業生を含め、学生の顔と名前を今でもほとんど覚えている。気さくに学生と話をしてコミュニケーションを取ることの重要性は、前職のワイキキのリゾートホテル勤務で認識した。卒業生がHTICを訪ねて帰ってきてくれるのが何よりも至福のひと時。趣味は旅行。仕事からホスピタリティに興味があり、特にラスベガスは大のお気に入り。世界一好きな食べ物は大阪 551 蓬莱の豚まん。

卒業生に聞く

From HTIC Senpai!

平形万利江さん (2008年秋卒・付属第四高校出身)

2006年に付属第四高校(札幌)からHTICに進学しました。福祉系の勉強をしたかったのですが、親にもっと視野を広げてからと言われました。ハワイで2年間がんばればあとは好きにしようと言われて、行ってみることにしました。中学校のときに修学旅行でHTICを訪れていたのも選択の大きな理由でした。

中学、高校はバスケットボールばかりの生活でした。勉強は苦手で、真面目に勉強に取り組んだ経験はほとんどなかったと言っていいくらいです。

ですからHTICに入ってから苦勞の連続でした。予科の最初のクラスは合格できずに2回リピートしました。図書館に引きこもって勉強するような毎日でしたが、毎日がとにかくわからなすぎて泣く毎日でした。先生の言っている単語も一つ二つしかわかりません。かなり勉強していたのですが、成績がついてきませんでした。

当時の学長からはもう日本に帰った方がいいとも言われましたが、日本人の先生が特別の補修クラスを作って面倒を見てくれました。自分は基本的なことがわかっていなかったことに気づき、きっかけをつかめてからだんだん英語がわかり始め、そのあとは勉強が面白くて仕方がなくなりました。好奇心旺盛な性格も幸いしたのか、知らないことを知ることがとても楽しかったです。

卒業後は、授業で興味を持った分野がきっかけで、ハワイ大学のアメリカン・スタディーズ専攻に進学しました。卒業後はOPT(研修滞在可能期間)を使って1年間ハワイでさらに経験を積み、一度日本に戻りました。

昔からやりたかった福祉系の仕事の夢を叶えるため、大学院に入ってソーシャルワーカーの資格を取ることを決意し、1年間日本でアルバイトして学費を貯め、2013年にハワイ大学の大学院に再び入学しました。在学中にも小学校のサポート活動のインターンなどを積極的に行いました。

今年の夏に大学院を修了、MSW (Master of Social Work) の学位を得ました。8月から再びOPTを使ってホノルルにある障害者のサポートをする団体で働く予定です。その後もこちらに残りたいと思っていますが、まだわかりません。

後輩へのアドバイスとしては、まずは辞めないこと、ですかね。学校の中でいちばんダメなくらいでも辞めない。辞めなければ未来が見えると思います。常に自分の好きなこと興味のあることを探し続けてください。そしてその興味と好奇心に貪欲になって追いつけてください。



ハワイ大学大学院修了式での平形さん

Hawaii Tokai International College

91-971 Farrington Hwy, Kapolei, Hawaii 96707

tel: (808) 983-4100 mail: ohanatimes@tokai.edu

本ニュースレターに関するご意見
ご感想等はメールでどうぞ!



Facebook でも最新情報を発信しています。

「ハワイ東海インターナショナルカレッジ (日本語)」で検索してください。